

整理番号	1-8-05-01
------	-----------

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	--	-------	--	-------	--

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議・鈴木 澄美)




経費項目	調査研究費・研修費・広報広報費・要請請等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	静岡県水産技術研究所開所式（焼津港）および西富士道路振動対策協議（県庁）		
年月日	平成30年5月8日～平成	年月日	金額 1,330円

目的	静岡県水産技術研究所開所式（焼津市） 西富士道路振動対策について所管と意見交換（県庁）
使途	東名高速料金
政務活動・ 県政との 関連性	産業委員会の委員として、所管事務である県水産技術研究所開所式に参加。 西富士道路の通行車両による振動被害について県の認識を確認。
<p>《領収書貼付枠》</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>ご利用ありがとうございます。</p> <p>料金所では一旦停車してください。</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>ご利用ありがとうございます。</p> <p>料金所では一旦停車してください。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p><b>利用証明書</b></p> <p>料金所 焼津</p> <p>お問合わせは、中日本お客さまセンター フリーダイヤル 0120-922-229 上記番号をご使用にならないお客さまは TEL 052-223-0333 (有料)</p> <p>18年 5月 8日 9時28分</p> <p>車種 普通</p> <p>通行料金 ¥850-</p> <p>(外訳)</p> <p>-入口料金所- 清水 ETC 有効期限20年10月 会員番号 (支払 - 1回払い) *****39298007 中日本高速道路株式会社 愛知県名古屋市中区錦2-18-19 取扱番号201-00700859-00</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p><b>利用証明書</b></p> <p>料金所 静岡</p> <p>お問合わせは、中日本お客さまセンター フリーダイヤル 0120-922-229 上記番号をご使用にならないお客さまは TEL 052-223-0333 (有料)</p> <p>18年 5月 8日 12時03分</p> <p>車種 普通</p> <p>通行料金 ¥480-</p> <p>(外訳)</p> <p>-入口料金所- 焼津 ETC 有効期限20年10月 会員番号 (支払 - 1回払い) *****39298007 中日本高速道路株式会社 愛知県名古屋市中区錦2-18-19 取扱番号209-00331155-00</p> </div> </div>	

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全てが政務活動費	1,330円	100%	1,330円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

整理番号	1-8-05-02
------	-----------

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	---	-------	---	-------	---

支出証拠書



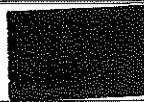
(会派名・議員氏名 自民改革会議・鈴木 澄美)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請謝辞費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	防衛議連沖縄県視察		
年月日	平成30年5月9日～平成30年5月12日	金額	137,300円

目的	沖縄県に展開する自衛隊と在日米軍の位置づけや機能について調査する。また、沖縄県民のそれぞれの組織に対する考え方などを調査する。
使途	交通費（航空運賃・新幹線と現地バス交通費）、宿泊費
政務活動・県政との関連性	東南アジア地域における国防上のあり方が問われ、その拠点となる沖縄県には様々な課題がある。現在、わが国では憲法改正などが議論され、国民が当事者として考えねばならない課題であることから、静岡県に陸・空自衛隊の基地があることや、本県の防災支援に沖縄駐留の米海兵隊が関わっていることもあり、その現状を視察し県政各分野での参考とする。
<<領収書貼付枠>> 別紙. 請求書、領収証参照	

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかるものである	137,300円	/	137,300円
		100%	

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

決 裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
<p>県 外 調 査 概 要 書</p> <p>平成30年5月12日</p> <p>会派名・議員氏名 自民改革会議 鈴木澄美</p>						
目 的	<p>沖縄県に展開する自衛隊と在日米軍の位置づけや機能について調査する。また、沖縄県民のそれぞれの組織に対する考え方などを調査する。</p>					
年 月 日	平成30年5月9日～12日					
場 所	<p>1. 視察日時 平成30年5月9日(水) 14:00～15:30 視察場所 陸上自衛隊第15旅団本部及び資料館</p> <p>2. 視察日時 平成30年5月9日(水) 15:50～16:50 視察場所 航空自衛隊南西航空方面隊本部および関連施設</p> <p>3. 視察日時 平成30年5月10日(木) 8:45～9:45 視察場所 海上自衛隊第5航空群司令部及び関連施設</p> <p>4. 視察日時 平成30年5月10日(木) 10:30～11:00 視察場所 嘉数高台及び米軍普天間基地視察(外部から)</p> <p>5. 視察日時 平成30年5月10日(木) 11:30～11:45 視察場所 米空軍嘉手納基地(外部から)</p> <p>6. 視察日時 平成30年5月10日(木) 13:00～14:00 視察場所 米軍海兵隊キャンプシュワブ(辺野古周辺)視察</p> <p>7. 視察日時 平成30年5月10日(木) 14:45～15:45 視察場所 米軍海兵隊キャンプハンセン視察</p> <p>8. 視察日時 平成30年5月10日(木) 16:15～17:00 視察場所 航空自衛隊第5高射群第19高射連隊恩納駐屯基地</p> <p>9. 視察日時 平成30年5月11日(金) 9:30～10:45 視察場所 海上自衛隊沖縄基地及び関連施設</p> <p>10. 視察日時 平成30年5月11日(金) 14:00～17:30 視察場所 米空軍嘉手納基地内および返還土地の活用状況(那覇市内)</p> <p>11. 視察日時 平成30年5月12日(土) 9:00～11:30 視察場所 旧日本海軍司令部壕及びみちの駅いとまん</p>					

様式第2号

内 容	<p>1. 行 程</p> <p>2. 応対者</p> <p>3. 聴取内容</p> <p>4. 県政への反映</p> <p>以上について別紙参照</p>
-----	---

\*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

# 領 収 証

2018年05月18日

鈴木 澄美 様

金額	¥ 1 3 7 , 3 0 0 ※
----	-------------------

但し 2018/05/09発 防衛議員連盟  
沖縄視察代金【クレジットカードご利用】

上記の金額正に領収いたしました。

Ref. No. 0000004005 予約No. 76539

## 御注意

1. 手書きのもの並びに金額の訂正したものは無効とします。
2. 社用印、担当者印なきものは無効とします。

観光庁長官登録旅行業 第638号

株式会社   
本社営業所   
〒425-0027  
静岡県焼津市  
2-2-2  
アンビ・ア パークビル2F

TEL:054-620-7731

FAX:054-620-7729

担当者印



1-8-5-2

# ご旅行代金明細書

平成30年4月23日

静岡県議会議員 鈴木澄美 様

株式会社 アンビ・ア 本社営業所  
〒425-0027 焼津市栄町2-2-21  
Tel:054-620-7725 Fax:054-620-7726  
所長: 蔭田卓史

視察代金明細につきまして下記の通りご案内申し上げます。  
ご査収の程、よろしくお願い申し上げます。

静岡県議会 防衛議員連盟 沖縄視察団  
期間:平成30年5月9日(水)～12日(土) 4日間  
人員:1名様

ご請求金額	137,300 円
-------	-----------

項目	内容	単価	数量	金額
航空運賃	5/9羽田-那覇 全日空469便	22,100	1	22,100
航空運賃	5/12那覇-羽田 全日空468便	21,200	1	21,200
宿泊代	5/9パシフィックホテル沖縄	16,500	1	16,500
宿泊代	5/10リザンシーパークホテル谷茶ベイ	16,500	1	16,500
宿泊代	5/11パシフィックホテル沖縄	16,500	1	16,500
バス借上げ代	バス借上げ代総額408,000円を15名で按分	27,200	1	27,200
添乗員経費	87,000円を15名で按分	5,800	1	5,800
JR、私鉄代	新富士-羽田空港往復	5,480	2	10,960
手数料		540	1	540
			合計	137,300

静岡県議会防衛議員連盟 様

2018年5月9日(水)~12日(土) 3泊4日

お願い:米軍施設へ入場視察予定です。パスポートを忘れずにご持参ください。  
 集合: 5/9 (水)10:05 羽田空港第2ターミナル(全日空) 2階 時計台4番付近  
 ひかり号は指定席6号車。こだま号は自由席です。品川駅は南出口・乗換え口へお進み下さい。  
 視察先は一部依頼中です。変更になる場合があります。予めご了承願います。

予定スケジュール ※視察先は変更になる場合があります。予めご了承をお願いします。			
5月9日 水	浜松駅	7:51	ひかり504号指定席、品川着9:03
	掛川駅	7:48	こだま630号静岡着8:01、ひかり504号指定席へ乗換え
	静岡駅発	8:11	ひかり504号指定席、品川着9:03
	新富士駅	8:16	こだま630号自由席、品川着9:19
	三島駅	8:29	こだま630号自由席、品川着9:19
	熱海駅	8:38	こだま630号自由席、品川着9:19
	品川着	9:03 9:19	品川発 京浜急行 9:23 又は 9:32
	羽田国内線着	9:45 9:56	全日空カウンターにて搭乗手続き
	羽田空港発	10:45	全日空469便 昼食:持込お弁当・お茶
	那覇空港着	13:30	借上げ観光バス、琉球バス
	視察	14:00-15:30	第15旅団視察 表敬訪問、ブリーフィング、資料館見学(不発弾処理隊)
	視察	15:50-16:50	南西航空方面隊視察 表敬訪問、ブリーフィング、施設・装備品見学
	ホテル	17:10	パシフィックホテル沖縄 那覇市西3丁目6番1号 電話098-868-5162
意見交換会	18:30-20:30	意見交換会(ホテル内宴会場にて) ※ 野田県議 JAL925、羽田19:35-那覇22:10、夕シ約15分ホテルへ	
5月10日 木	ホテル発	8:30	借上げ観光バス、琉球バス
	視察	8:45-9:45	第5航空群視察 表敬訪問、ブリーフィング、装備品見学
	視察	10:30-10:45	嘉数高台視察 沖縄局と合流、高台から普天間基地視察
	視察	11:15-11:45	沖縄防衛局局長表敬訪問。嘉手納基地視察 昼食:カヌチャリゾートにて
	視察	13:15-14:15	キャンプシュアブ視察 ※ 土屋県議: 夕シにて空港へ、JAL916、那覇発16:25-羽田着18:50
	視察	14:45-15:30	キャンプハンセン視察 ※ 落合県議: 夕シにて空港へ、ANA476、那覇発19:20-羽田着21:40
	視察	16:00-17:45	恩納分屯基地視察、ブリーフィング、施設・装備品見学
	ホテル	18:00	リザンシーパークホテル谷茶ベイ 国頭郡恩納村字谷茶1496 電話098-964-6611
	意見交換会	19:00-21:00	意見交換会(ホテル宴会場にて)
5月11日 金	ホテル発	8:15	借上げ観光バス、琉球バス琉球バス
	視察	9:30-10:45	沖縄基地隊視察 表敬訪問、ブリーフィング、施設・装備品見学
	空港到着	12:00頃	搭乗手続き、自由昼食、羽田行と静岡行に分かれます 視察 14:00 ~ 17:30 嘉手納基地内視察 宿泊:パシフィックホテル沖縄 近隣ホテル利用視察
	視察	9:00 ~ 11:30	旧米軍司令部視察 米軍基地内視察
5月12日 土	那覇発	14:30	全日空468便
	羽田着	16:55	京浜急行、新幹線自由席
	静岡	那覇発 13:15 静岡空港着 15:30	全日空1264便

# 防衛議員連盟

## 沖縄視察計画

米軍基地に入るのに「パスポート」を携行

平成30年5月9日～5月11日



## 静岡県議会「防衛議員連盟」沖縄視察計画

## 1 目的

沖縄に所在する陸、海、航自衛隊の各部隊及び米軍基地を研修し、主として沖縄における国土防衛の現況及び沖縄駐留米軍の現況を調査・研究するとともに、沖縄防衛局では基地対策を主体に、基地所在自治体としての行政運営を含めた今後の県政の資を得る。

## 2 日程

平成30年5月9日(水)～5月11日(金)

## 3 参加者

静岡県議会、防衛議員連盟 17名

会長：多家 一彦

副会長：中谷 多加二

鈴木 洋祐

落合 慎吾

中沢 公彦

鈴木 澄美

鳥澤 由克

深沢 陽一

渡瀬 典幸

野崎 正蔵

土屋 源由

野田 治久

河原崎 聖

木内 満

江間 治人

坪内 秀樹

事務局長：和田 篤夫

## 4 視察の概要

「別紙」参照

※ 1日目の意見交換会・・・沖縄所在陸、海、空自衛隊高級幹部

※ 2日目の意見交換会・・・沖縄所在分屯基地等の司令等

## 5 視察先調査項目

## (1) 陸上自衛隊 第15旅団

- 島嶼防衛の考え方
- 与那国島等の沿岸監視部隊新編の考え方
- 緊急患者空輸、不発弾処理の状況

## (2) 海上自衛隊

## ア 第5航空群

- 海自の南西諸島における哨戒（潜水艦の監視）状況
- 南西諸島等の領海における中国（海軍）等に対する警戒・監視状況

## イ 沖縄基地隊

- 護衛艦等の補給、休養業務
- 周辺の掃海業務
- ホワイトビーチにおける日米の共同使用状況

## (3) 航空自衛隊

## ア 南西航空方面隊

- 南西海空域における警戒・監視、管制の状況
- 対領空侵犯措置（スクランブル）の状況

## イ 第19高射隊

- 防空態勢の状況
- 弾道ミサイル攻撃等に対する迎撃

## (4) 米海兵隊 キャンプハンセン

- 米海兵隊（砲兵）の状況

## (5) 沖縄防衛局

- 各米軍関連施設等の概要とこれらに伴う対応状況

## 6 その他

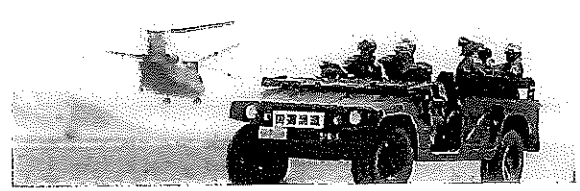
本視察・研修には、自衛隊静岡地方協力本部が同行、支援する。

# 視察・研修する自衛隊、米海軍等の概要(資料)

## 1 陸上自衛隊 第15旅団

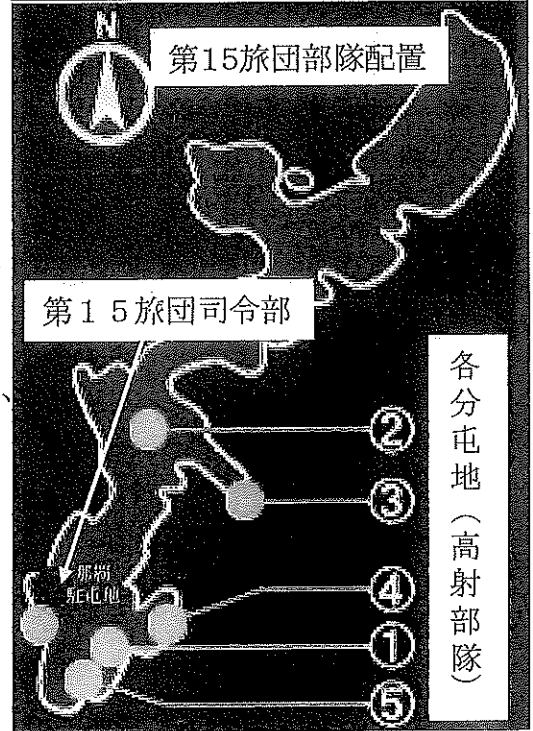
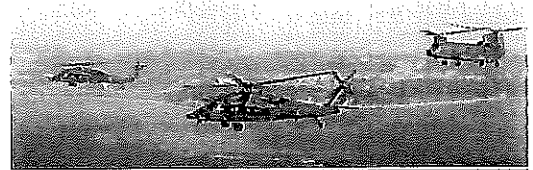


第15旅団長  
陸将補 原田智総

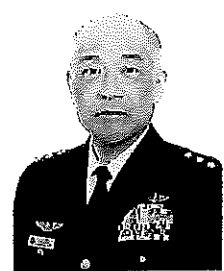


第15旅団は、西部方面隊(熊本)隷下の離島型旅団であり、ゲリラや特殊部隊による攻撃やNBC攻撃、島嶼部に対する侵略、大規模特殊災害等の新たな脅威や様々な事態に迅速かつ実効的に対応できる体制を構築する一環として編成されている。那覇市に司令部を置き、東西約1000m、南北約400kmという広大な海域に、有人島50を含む160の島々をもつ沖縄県の防衛警備・災害派遣を担当している部隊である。

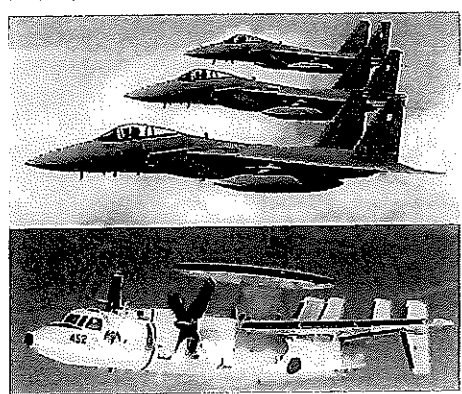
この部隊は、隊員約2100名、戦車や大口径火砲を持たない軽装備の部隊であり、特徴的な任務として、第2次世界大戦において国内唯一地上戦が行われた地域であることから、不発弾処理の部隊、離島が多いことからの緊急患者空輸の2大民生協力を実施している。



## 2 航空自衛隊 南西航空方面隊

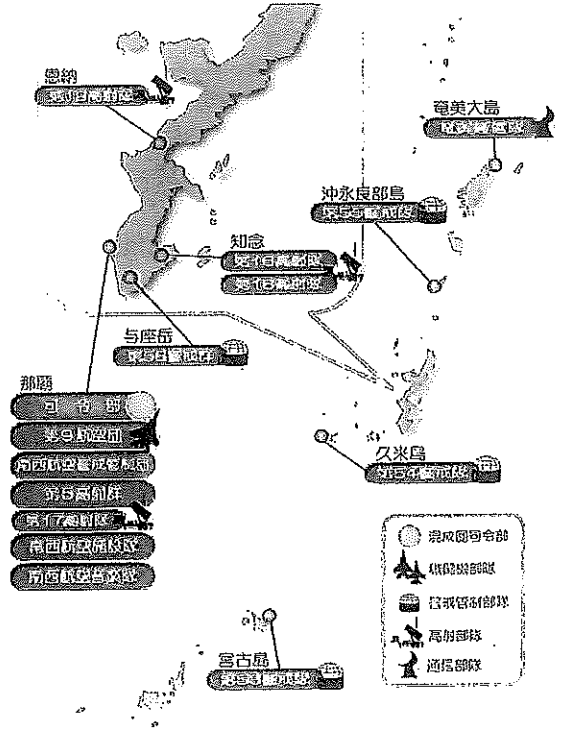


南西航空方面隊司令官  
空将 上ノ谷 寛



南西航空方面隊は、航空自衛隊に4個ある航空方面隊の一つであり、近年の中国軍の増強に伴い平成29年7月、既存の航空混成団に戦闘機部隊を増強し、最新の航空方面隊として昇格、編成された部隊である。1個戦闘航空団(F-15)を主力とし、そのほかに1個航空警戒管制団(1個警戒群・3個警戒隊 固定レーダーサイト)、1個高射群などで編成され、その配置は右図の通りである。那覇基地に司令部を置き、防衛担当区域は沖縄・南西諸島地域であり、東シナ海、太平洋方面に対する要撃などを行なう。

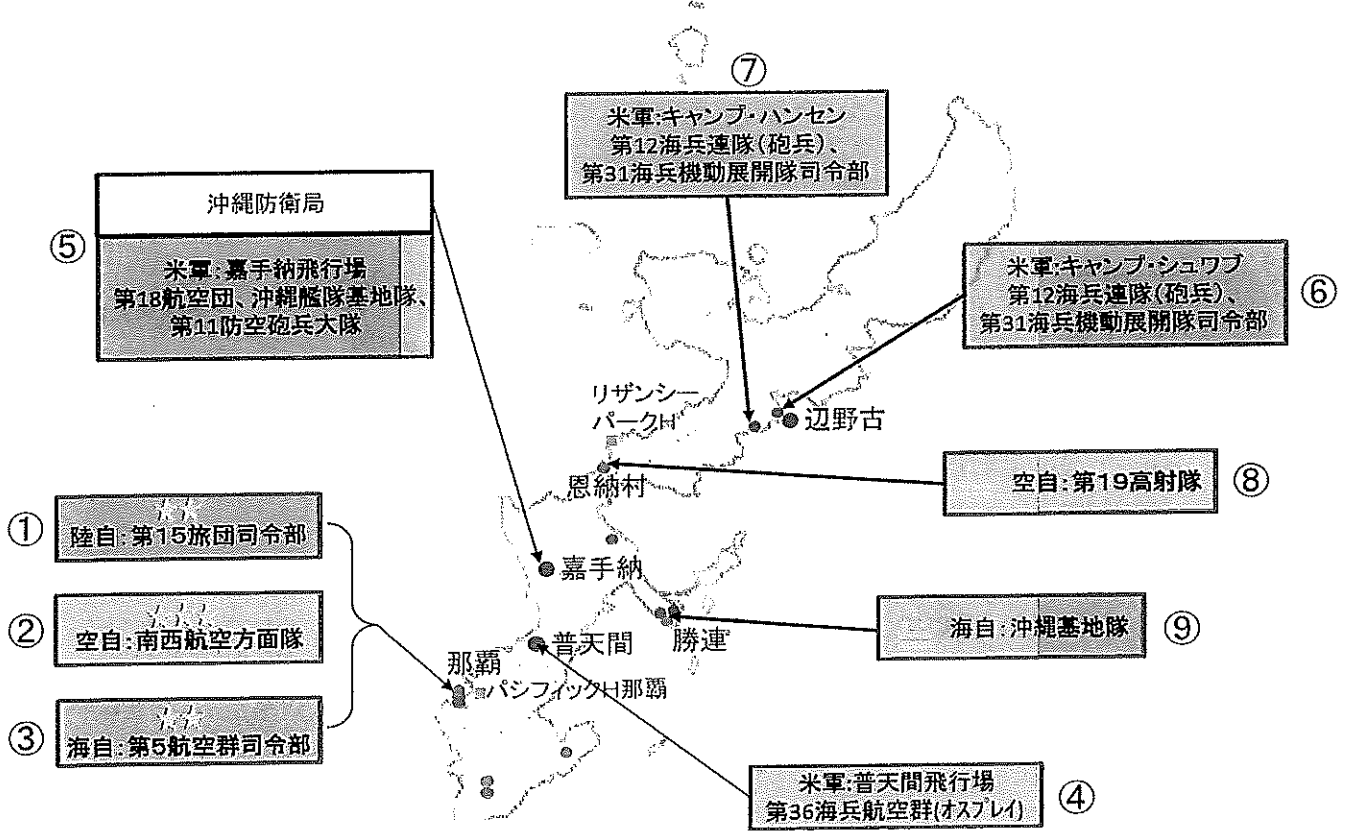
### 南西航空方面隊の部隊配置



視察の概要(行動予定)

行 動 の 概 要	
5月9日 (水)	<p>0500 本部</p> <p>0900/1045 羽田空港 ANA 469便 昼食(弁当)</p> <p>1330 那覇空港</p> <p>1400 陸自第15旅団 ・写真撮影 ・表敬訪問 ・フリーフィンク ・資料館見学</p> <p>1530</p> <p>1550 空自南西航空方面隊 ・表敬訪問 ・フリーフィンク ・施設、装備品見学</p> <p>1650</p> <p>1710 1115 1145</p> <p>1830 2030 H内意見交換会 自衛隊 ・陸旅団長 ・空方面隊司令 ・海5空群司令</p>
5月10日 (木)	<p>0815 リザンシーパーク日谷茶ベイ</p> <p>0830 0945 海自第5航空群 ・表敬訪問 ・フリーフィンク ・装備品見学</p> <p>1030 1115 沖繩防衛局と各流(日谷) 高台から普天間飛行場視察</p> <p>1145 空軍嘉手納基地視察 局長表敬訪問</p> <p>TBD 昼食(防衛局計画)</p> <p>1315 車中 キャンプシン 辺野古視察</p> <p>1445 海兵隊 キャンプシン 概要説明</p> <p>1600 1745 空自恩納分屯基地 ・フリーフィンク ・施設、装備品見学</p> <p>1800 リザンシーパーク日谷茶ベイ</p> <p>1900 2100 H内意見交換会 自衛隊 ・空自恩納分屯基地 隊司令 ・海沖繩基地隊司令</p>
5月11日 (金)	<p>0815 リザンシーパーク日谷茶ベイ</p> <p>0930 1045 海自沖繩基地隊 ・表敬訪問 ・フリーフィンク ・施設、装備品見学</p> <p>1200/1315 那覇空港 ANA 1264便</p> <p>1530 静岡空港</p> <p>1200/1320 那覇空港 ANA 468便</p> <p>1540 羽田空港</p> <p>1900 本部</p>

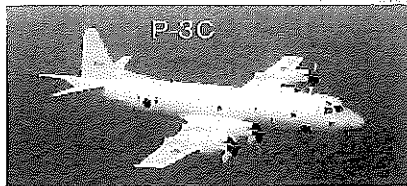
視察場所・施設及び視察順序要図



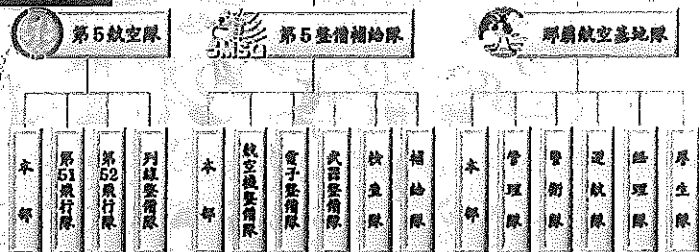
### 3 海上自衛隊 第5航空群



第5航空群司令  
海将補 市田 章



P-3Cは、現在世界で実戦配備されている哨戒機の中では最も高性能な機体で、海自は90機保有、その役割は、潜航している潜水艦の探知と情報収集にある。その対潜能力は本家アメリカをも凌ぐものである。



第5航空群は、海上自衛隊に4つあるP-3C(対潜哨戒機)部隊の1つで、警戒・監視、情報収集を毎日実施しています。主要な任務としては、尖閣諸島を含む南西諸島(東シナ海海域の南部)周辺の警戒監視、情報収集であり、その他にも国際貢献活動として、ソマリア沖・アデン湾における海賊対処行動にこれまで7回航空隊を派遣し、各国と協力しつつ海賊の警戒監視を行っている。また、南西海域における災害派遣にも従事し、これまでに遭難漁船の捜索や洋上救難等において成果を上げている。

### 4 防衛省 沖縄防衛局

防衛局の一般的な役割は、自衛隊及び在日米軍の防衛施設の整備・管理、安定的な使用の確保、防衛施設周辺住民の生活福祉向上、地域住民と在日米軍との交流行事の実施等、幅広い業務を行い、国民と自衛隊及び在日米軍との架け橋となっている。

沖縄防衛局は、沖縄県に全国の米軍施設・区域(専用施設)の約70%が集中している特殊性から、沖縄県民の負担を軽減するため、在日米軍施設・区域の整理・統合・縮小に向けた様々な取り組みを行っている。

### 5 米軍、キャンプハンセン

#### (1) 在日米軍の概要

在日米軍は、米太平洋軍(司令部:ハワイ、米国最大の統合軍(陸・海・空・海兵隊約30万人))下の各軍(陸軍:第1軍団前方司令部(座間)、海軍:第7艦隊(横須賀)等、空軍:第5空軍(横田)等、海兵隊:第3海兵遠征軍(沖縄)等)総数約4.5万人で編成され、司令官は、第5空軍司令官が兼務、在韓米軍のほぼ2倍の勢力を持っている。

#### (2) 沖縄に駐留する米軍の概要

日米安保体制の円滑かつ効果的な運用のためには、在日米軍の活動が施設・区域周辺の住民に与える負担を軽減し、米軍の駐留に関する住民の理解と支持を得ていくことが重要である。在日米軍の約半分の勢力は、右表にある通り沖縄に駐留、加えて米軍総施設面積の全国に占める沖縄の割合は約74%であることから、沖縄県民の負担を軽減することが重要であるといえる。

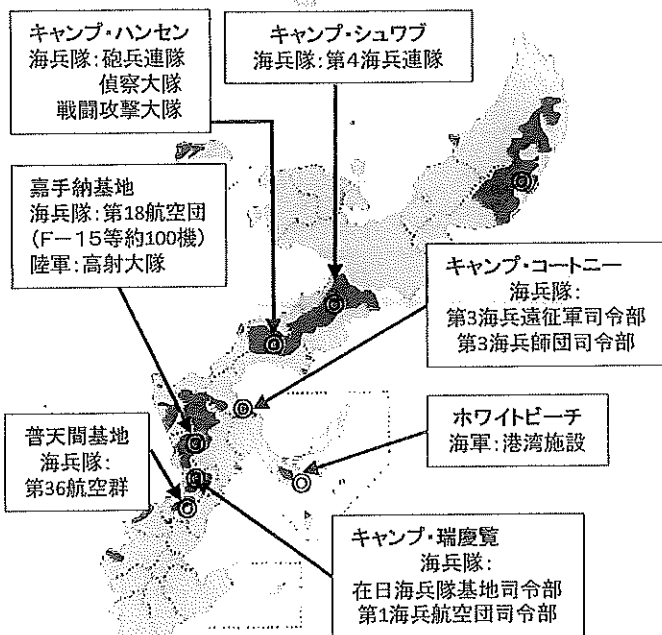
本土と沖縄の在日米軍規模の比較

	軍人	軍属	家族	計
本土	2.2万人	0.3万人	2.5万人	5.0万人
沖縄	2.3万人	0.2万人	2.0万人	4.5万人
計	4.5万人	0.5万人	4.5万人	9.5万人

### 沖縄に駐留する米軍の主な基地と部隊

#### (3) キャンプ・ハンセンについて

海兵隊のバトラー基地の一つで、第3海兵遠征軍隷下部隊が駐屯している。この施設は戦術的作戦訓練基地であり、第三海兵遠征軍の訓練設備の維持・運営を支援している。かつて県道104号線越えの実弾射撃演習が実施されていたが、1996年、SACOでの日米合意によって演習の移転が決定された。現在自衛隊の訓練もできるようになっている。

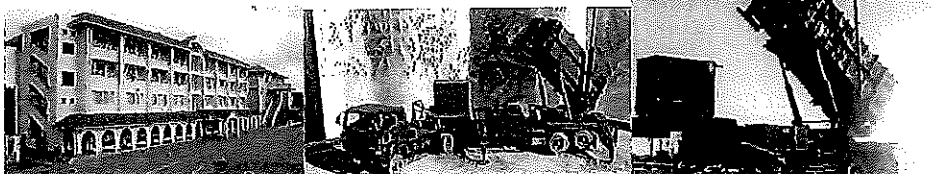


#### 6 空自 恩納分屯基地



恩納分屯基地司令  
2等空佐 武藤 則久

恩納村分屯地に所在する第19高射隊は、那覇に所在する南西航空方面隊隷下の第5高射群にある4個の高射隊の一つで、分屯地司令は第19高射隊長が兼ねている。主たる任務は与えられたエリア(沖縄南西域)の防空、迎撃で、ペトリオットを装備している。



#### 7 海自 沖縄基地隊

沖縄基地隊司令  
1等海佐 佐々木輝幸



沖縄基地隊は、海自、佐世保地方隊隷下の第46掃海隊の基地であり、掃海艇3隻が所属している他、寄港する海上自衛隊の艦船などが岸壁を使用している。

同基地は勝連半島先端部にあつて、米軍基地ホワイト・ビーチ地区に隣接しており、事実上一体化して使用されている。海上自衛隊沖縄基地隊は、掃海艇、水中処分隊特務船、曳船、交通艇等を保有し、主として沖縄の沿岸、重要湾港等を防備するために設けられた南西諸島唯一の艦艇基地部隊である。平時から、防衛任務を完遂するために必要な訓練を行う一方、海中の不発弾等各種の爆発物及び障害物の除去・処分、災害発生時における一般住民への協力を行っている。

## 防衛議連沖縄陸自第15旅団・空自南西航空方面隊視察

視察日時 平成30年5月9日(水) 14:00~15:30

視察場所 陸上自衛隊第15旅団本部及び資料館

対応者 陸上自衛隊第15旅団副旅団長 伊崎義彦一等陸佐  
同 司令部幕僚長 井川賢一等陸佐

陸上自衛隊第15旅団本部と航空自衛隊南西航空方面隊を訪れ、それぞれの活動状況などを視察した。那覇空港周辺には全国の自衛隊にはない、陸・海・空のそれぞれの核となる施設が集結しており、国防をはじめ災害支援や離島が多いことによる航空機を使った救急患者輸送など、沖縄の特色のある各自衛隊の連携を物語っている。



(陸上自衛隊幹部が説明) (沖縄県民にとって自衛隊は特別な思いがある)

陸上自衛隊第15旅団は離島型旅団といい、ゲリラや特殊部隊による攻撃やNBC攻撃、島嶼部に対する侵略、大規模特殊災害等の新たな脅威や、様々な事態に迅速かつ実効的に対応できる体制を構築する一環として編成されている。そのほか、第二次世界大戦において国内唯一地上戦が行われた地域であることから、不発弾処理の部隊や、離島が多いことから緊急患者空輸の二大民生協力が特徴である。緊急患者空輸では、陸上自衛隊が担うことは珍しいということであった。

沖縄県では、米軍基地や国防に関する様々な議論が高まっているが、先ほども触れたように、先の大戦で国内唯一の地上戦が行われ、民間人にも多くの犠牲者を出した歴史があり、今も周辺諸国との問題も深刻化していることから、沖縄県民の思い

に理解を示すことは大切であり、国を守ることの現実も受け止めながら国全体で考える重要な課題として実感した。

自衛隊に関しては、昭和47年頃から沖縄に関連施設がつけられ、当時の自衛隊員やその関係者は地元を受け入れてもらえず、大変な思いをしたこととお聞きした。しかし、大きく変わったのは東日本大震災の後で、自衛隊に対する国民の見方が大きく変わり、ここ沖縄でも同じように受け入れていただくようになったという。



(台風・沖縄トラフを震源とする地震に備える)(離島の救急患者搬送は陸自が対応)

私達は、普段、マスコミの情報でしか沖縄のことを知ることができないが、記事に載らないことも事実として、自衛隊のホームページなどで広報活動を自ら行っている。若い人達は新聞は読まなくなったというが、情報の取り方が変わっただけでSNSなどを含め、沖縄の現状を彼らなりに見ているという。是々非々で理解していただくことが重要である。

何かと、沖縄基地問題では知事と国、米軍とでは大きな軋轢があるが、こと、災害対策では自衛隊と米軍に対して一定の理解があるという。災害対策の会議には知事も参加されるなど、その融和について説明を受けた。災害対策では、東日本大震災以降の地震津波に対する関心が高まり、沖縄トラフを震源域とする大地震と津波では過去に80mの津波が沖縄を襲ったという情報もあり、このことは沖縄県民にとって大きな課題である。また、台風被害の多い地域でもあり、自然災害における自治体と自衛隊などとの協力関係は今後ますます高まる。

離島が多いために、緊急患者を航空機で搬送することは他地域よりも多くなる。よほどのことがない限り、24時間、天候が飛行できる状況下であれば実施している。しかし、これまでに2回の飛行で8名の殉職者を出しているという説明があった。あつてはならないことだが、県民の命を守るためにという強い意志で、かなり厳しい状況下



での飛行により、このような悲惨な事故になったという現実があることを気にとめておかねばならない。また、その決断を下す司令官の苦渋もお聞きすることができた。

不発弾の処理は今日も2回出動があったというように日常茶飯事のこと、沖縄県内の不発弾処理には今後70年がかかるという見込みには驚かされる。



(今も残る不発弾は処理に70年かかるという。陸自の使命は県民の命を守ること)

視察日時 平成30年5月9日(水) 15:50～16:50  
視察場所 航空自衛隊南西航空方面隊本部および関連施設  
対応者 航空自衛隊南西航空方面隊副司令官 谷嶋正仁空将補  
同 警戒管制団司令 横尾広 空将補  
航空自衛隊第5高射群司令 鎌田修一 一等空佐

航空自衛隊南西航空方面隊の視察では、周辺諸国の領海侵犯などに備えたスクランブルの出動回数は沖縄地域に集中し、全国のほとんどをこの隊が対応しているとのことであった。



(空自戦闘機の前で)



(現存する唯一の大戦時の砲塔)

陸自・空自の視察の中では、沖縄の特別な事情を改めて知ることになり、本県も、東部地区に陸自の複数の駐屯地や訓練施設、中部西部には空自の施設があり、全国的にみれば自衛隊施設が少なくはないが、沖縄とは大きく事情が異なるなど、今回の視察を通じてその現実を知ることができたのは有意義であった。

## 防衛議連沖縄海自第5航空群・米軍施設（4箇所）・空自恩納分屯基地視察

視察日時 平成30年5月10日（木）8：45～9：45

視察場所 海上自衛隊第5航空群司令部及び関連施設

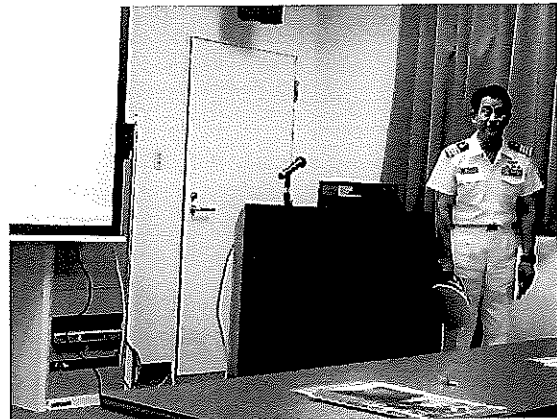
対応者 海上自衛隊第5航空群司令部主席幕僚 山形文則一等海佐

防衛議連二日目の視察は、海上自衛隊第5航空群、米軍普天間基地と米軍嘉手納基地の外部からの視察、米軍辺野古（キャンプシェワブ）周辺視察、米軍海兵隊キャンプハンセン視察、航空自衛隊恩納分屯基地を視察した。

海上自衛隊第5航空群は那覇空港に隣接し、P3Cという対潜哨戒機による尖閣諸島を含む南海諸島周辺での警戒・監視、情報収集についてや、国際貢献活動としてのソマリア沖・アデン湾における海賊対処行動（7回派遣）、南西海域における災害派遣として遭難漁船の捜索や洋上救難等において説明を聞いた。また、実際にP3C哨戒機について現物を視察させていただいた。



（海上自衛隊第5航空群施設）



（海自第5航空群幹部）



（注目する尖閣諸島を含む活動エリア）



（対潜哨戒機P3C）

自衛隊のPKO活動や懸念事項として南シナ海、尖閣諸島などの最前線の監視活動は、我々の想像を超える厳しい環境で仕事をしていることがうかがえた。その拠点が沖縄であることを改めて実感できた。

視察日時 平成30年5月10日(木) 10:30~11:00  
視察場所 嘉数高台及び米軍普天間基地視察(外部から)  
対応者 沖縄防衛局職員

米軍普天間基地や嘉手納基地の運用状況、米軍キャンプシュワブのある辺野古への普天間からの基地移転などの取り組み状況などについて、防衛省沖縄防衛局の担当者から現地にて説明を受けた。

普天間基地の視察では、第二次世界大戦の最大激戦地の一つとなった嘉数(よしず)高台に上り、眼下に普天間基地と市街地の密集した状況を目の当たりにした。地域住民の不安や早期移転の思いには理解できるものがある。しかし、遅々と進まない状況に対して国の担当者は、複雑な思惑が絡み合っており、地元住民の本音を代表する意見は集約できないということであった。



(普天間基地の周囲は  
住宅地がひしめき合っている)



(視察中も  
オスプレイが普天間基地に着陸)

視察日時 平成30年5月10日(木) 11:30~11:45  
 視察場所 米空軍嘉手納基地(外部から)  
 対応者 沖縄防衛局職員

嘉手納基地は辺野古地区への移動途中に立ち寄ったもの。団体での視察はかなわず、明日、一部の有志で嘉手納基地内に入り視察したので、その様子は別の報告書に記す。

朝鮮戦争やベトナム戦争の主力基地となった嘉手納基地は、米空軍が展開する海外基地の中でも最大級である。アジア地区の有事にはここが作戦を展開する本拠地であることもあり、特別な思いで光景を見た。

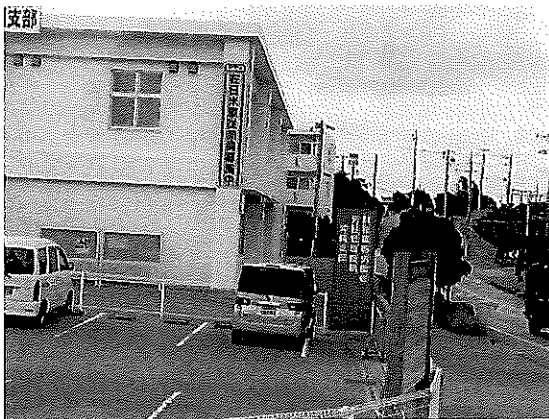
添付した写真は、嘉手納基地のありのままを紹介する民間の施設内を視察し、その様子を説明する。沖縄県民の基地のある苦悩と、仕事などで関わる共存について感じるものがあった。



(米軍嘉手納基地)



(基地がある住民の思いを記した表示)

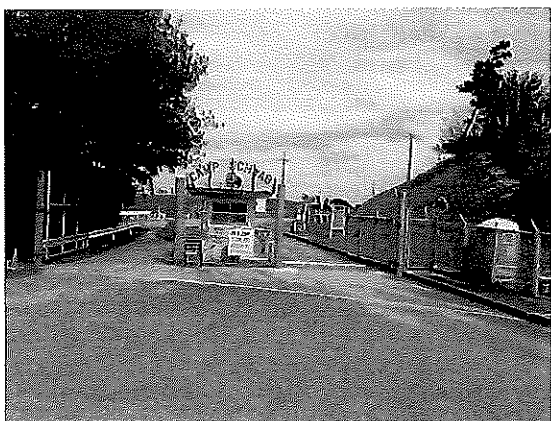


(米軍基地が地元住民にとって

仕事の間であることを示す施設)

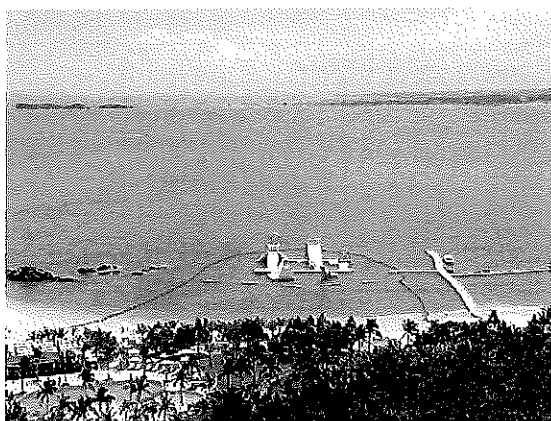
視察日時 平成 30 年 5 月 10 日 (木) 13:00~14:00  
視察場所 米軍海兵隊キャンプシュワブ (辺野古周辺) 視察  
対応者 沖縄防衛局職員

普天間基地の移転先となる名護市辺野古の米軍キャンプシュワブでは、反対の烽火を上げた民間人 (必ずしも地元住民ではないという説明あり) が、基地ゲート前に集結してシュプレヒコールを上げている集団に戸惑いを感じながら、少し離れた位置から工事の進捗状況について、沖縄防衛局担当者から説明を聞いた。



(辺野古にある米軍のキャンプシュワブ) (基地正面には反対派が集結)

視察現場は、コンドミニアムがあり沖縄県の自然などが満喫できる素晴らしいところであり、反対グループの思いの一部には理解できるものの、その前に視察した普天間の状況や、国防上、日本が置かれている立場を考えると、現在の取り組みが決して無意味なことでないことが判る。日本国民の一人として、現実を直視する勇気は必要と感じた。



(コンドミニアムと辺野古の埋め立て)

(視察団と沖縄防衛局職員)

視察日時 平成 30 年 5 月 10 日 (木) 14:45~15:45  
 視察場所 米軍海兵隊キャンプハンセン視察  
 対応者 米軍キャンプハンセン副司令官 リチャード J ライアン  
 金武町役場企画課基地渉外・国際交流係 仲間あずさ係長

キャンプハンセンの視察では、最初に基地副司令官から施設の概要や海兵隊の展開、地域貢献などについて説明を受けた後、キャンプ内を車から視察した。



(米軍海兵隊キャンプハンセン司令部) (キャンプ富士にも派遣される部隊)

最初のブリーフィングでは、基地副司令官のほか、危機対策官、海兵隊と連携している自衛隊関係者、地元金武町役場職員が同席して進められた。

説明は副司令官からで、海兵隊の概要、施設内容、地域貢献などの説明の後、質疑応答があった。



(左スーツ姿がリチャード副司令官) (通訳は基地に所属する日本人スタッフ)

説明内容では、海兵隊施設としての訓練環境やキャンプを構成する総員が7,000名であること。沖縄県内の米軍海兵隊の組織構成。アジア地域での海兵





副司令官やキャンプ富士に2年間赴任したという将校からは、大変重要な課題ととらえ、現状を調査したいということと、必要に応じて今後もキャンプハンセンの司令部を通じて対応を考えたいという答弁をいただいた。キャンプ富士は施設規模が小さく、駐在する人員数も少ないことから、今後もキャンプハンセンでの対応になるのではないかとということで、本県にとって力強い後ろ盾を頂いたように受け止めた。

他の議員からの質問から、鳩山内閣時に決定した沖縄海兵隊のグアム移転の状況については、沖縄県南部にある基地の返還を確実にすることが重要であること。しかし、基地移転問題で進捗が思うように進まず苦慮している。また、最近の南シナ海の問題は決して軽いものではなく、今後はさらに緊張感が高まるかもしれない。この地域を守るための沖縄の米軍基地の役割は大きいという説明があった。

私達は沖縄県における日本の防衛や米軍との課題は、マスコミを通じて知ることが一番の情報源ではあるが、現場の指揮官から現実的な話を聞くことにより、様々な局面があることを知ることができた。

私達国民にとって、真実や現実を冷静に見極めることが重要であることを再認識した。先ほども触れたが、国民の多くはマスコミの情報が全てと捉えがちである。自衛隊は自らインターネットを使った情報提供に力を注ぎ始めている。米軍も様々な媒体を通じて広報し、また基地を定期的に開放するなど多くの地元民が米軍基地への理解が深まるよう努力していることが分かる。

副司令官の印象に残る言葉は、「基地は沖縄を形成している一つの街であり、その責任を果たさなければならない。」であった。

私達は幅広く多眼的な視点で国の防衛の現状や将来を見極めていくことも重要と感じた。

視察日時 平成30年5月10日(木) 16:15~17:00  
視察場所 航空自衛隊第5高射群第19高射連隊恩納駐屯基地  
対応者 航空自衛隊第5高射群第19高射連隊恩納分屯地基地司令  
武藤則久二等空佐

航空自衛隊恩納分屯地の責任者から、弾道ミサイル対策等について実機の前で臨戦態勢性が可能な環境の中で説明を聞いた。



(空自恩納村分屯地の責任者が説明)



(近隣諸国からの弾道ミサイルを  
迎撃するシステムの説明)



(沖縄県の一番狭い地域の山の頂上にある通信施設を視察)

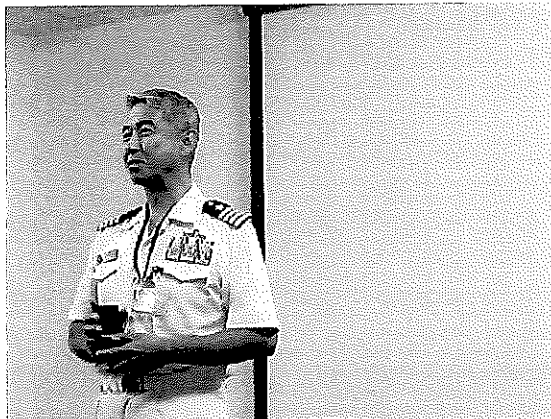
私達国民にとって、真実や現実を冷静に見極めることが重要であることを再認識した。先ほども触れたが、国民の多くはマスコミの情報が全てと捉えがちである。現場の自衛隊は、自らのインターネットを使った情報提供に力を注ぎ始めている。私達は幅広く多眼的な視点で国の現状や将来を見極めていくことも重要と感じた。

視察日時 平成30年5月11日(金) 9:30～10:45  
 視察場所 海上自衛隊沖縄基地及び関連施設  
 対応者 海上自衛隊沖縄基地隊司令 佐々木輝幸 一等海佐  
 同 副長 上山修司 二等海佐  
 同 第46掃海隊 瀬戸口功 二等海佐  
 同 前任伍長 田頭和則 海曹長

勝連半島先端にある海上自衛隊沖縄基地隊を視察した。施設は米軍のホワイトビーチ基地の中にある。厳密に言えば隣接ということになるのかもしれないが、米軍と共用する施設が多く、一体化しているようにも思える。

この施設の任務は、魚雷除去などを専門に行う掃海艇を所有し、湾岸戦争時には国際貢献として中東地域までこの作業に出かけたという。そのほか、水中にある危険物の除去など、沖縄の沿岸、重要港湾等を防備し、また、南西諸島唯一の艦艇基地部隊として自衛隊艦船の後方支援を行っている自衛隊施設である。

今日は所有するタグボートに試乗させていただき、沖合から日米の施設を視察させていただいた。施設は供用されているので日米の連携した取り組みが理解できた。



(説明いただいた基地司令官)



(沖縄では水中にも多くの爆弾等がある)



(タグボートに試乗。施設内を海から視察)

## 防衛議連 米空軍嘉手納基地・米軍跡地利用視察

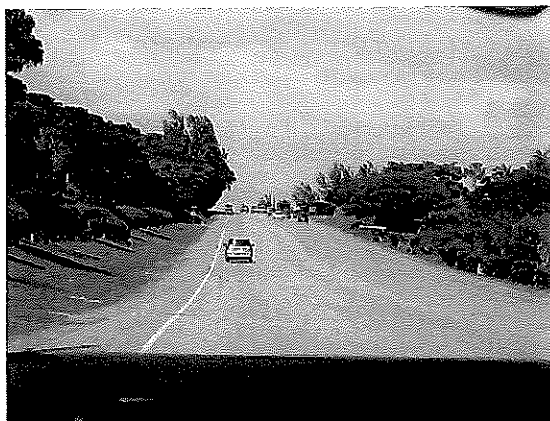
視察日時 平成30年5月11日（金）14:00～17:30  
視察場所 米空軍嘉手納基地内および返還土地の活用状況（那覇市内）  
対応者 元沖縄米軍基地内日本人スタッフ  
訪問者 中谷多加二・鳥澤由克・鈴木澄美県議

視察団の日程は11日午前中で全て終了したが、自衛隊施設もさることながら米軍施設では機密事項も多く、大勢での視察を希望しても実現できないこともある。そこで、人数を絞り基地内に勤務していた関係者などの協力により、条件付きで視察が可能となったことから、中谷、鳥澤、鈴木の3名で、日程を延長し視察を続けた。

午後からは、米空軍嘉手納基地内に入り、基地関係者の生活状況や関連視察などを、その後、基地外に出てこれまで米軍関連施設だったところが日本に返還され、その跡地利用などについて視察した。

嘉手納基地視察では、現在はリタイヤされているがかつて基地内で働いていた関係者に配慮をいただき、正式な手続きを経て基地内を視察した。

空港施設は撮影禁止となっているので、一部の許可された展示用航空機や基地内道路、視察内の写真を添付する。

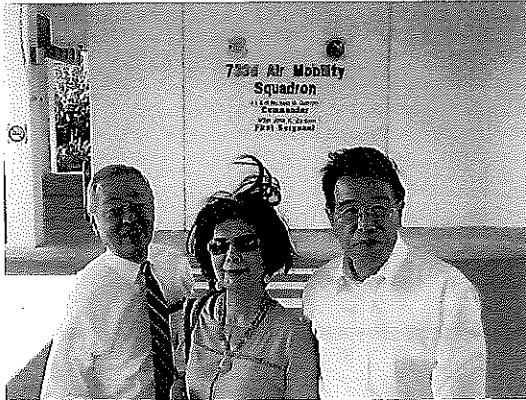


（嘉手納基地内の道路。

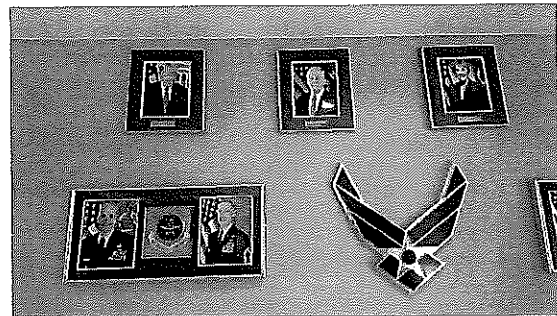


（基地施設撮影で許された飛行機展示場）

アメリカ国内にいるような錯覚を覚える広さ)



(嘉手納基地内にある旅客ターミナル  
軍関係者しか利用できない)



(ターミナル入り口にはトランプ統領ほか  
軍関係幹部の写真が並ぶ)

当然のことであるが、基地内は日本の法律が適用されないアメリカの直轄区域で、前日視察した米海兵隊のキャンプハンセンと同様に、ほぼ全ての街の機能が整う小さなアメリカの街が再現されている。

視察の目的は、基地内で働く軍関係者とその家族や日本人スタッフなどの生活や仕事などの様子を確認することであった。基地内には、大型のショッピングセンター、映画館、レストラン、医療機関、学校など全てがそろっており、軍関係者とその家族は基地の中だけで全ての生活が可能となっている。視察したショッピングセンターでは、軍服を着た関係者にたまに会うこと以外は、基地の中にいることを忘れてしまいそうな錯覚に陥るほどの雰囲気と品揃えで、以前に訪れたことのあるアメリカ本土にある商業施設と全くといっていいほど変わらない。

ここで働いている日本人は多くが沖縄県民であり、商業施設以外でも基地を支える日本人の働く場がある。沖縄の人達にとって基地は職場でもある。

福利厚生施設も立派なものが多く、説明ではこれらは日本からの「思いやり予算」の使途の一部であろうということであった。

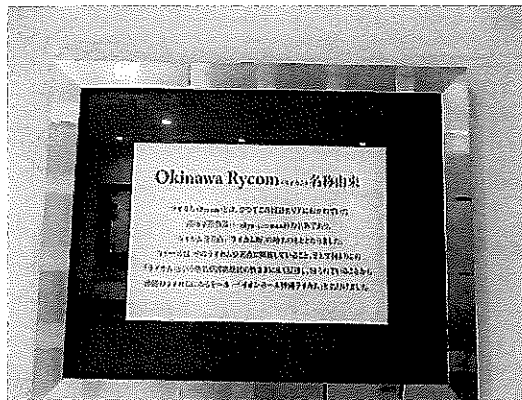
生活面を直接見ることで、軍の基地というイメージとはかけ離れた世界の存在に気づき、彼らが沖縄県民の一部であるかのような存在であることにも気づかされた。昨日までの米軍関係者から聞いた沖縄県民との交流の大切さは、理解できるような気がする。

次に返還された土地の活用については、一部は日本の大きなショッピングセンターに生まれ変わり、観光振興の受け皿となるホテルなどへの生まれ変わりが進んでいるようである。また、市民向けに宅地造成されているところまであり、返還は新たなまちづくりに大きな貢献を果たしているようでもある。



(基地返還を踏まえて道路などの  
インフラ整備が進む)

(徐々に返還された場所から土地利用が  
図られている)



(跡地に進出した大型ショッピングモール) (跡地であることを説明するパネル)



(ショッピングモールの内部。1階には大きな水槽もあり市民・観光客の憩いの場に)

## 防衛議連沖縄戦の跡と地域振興

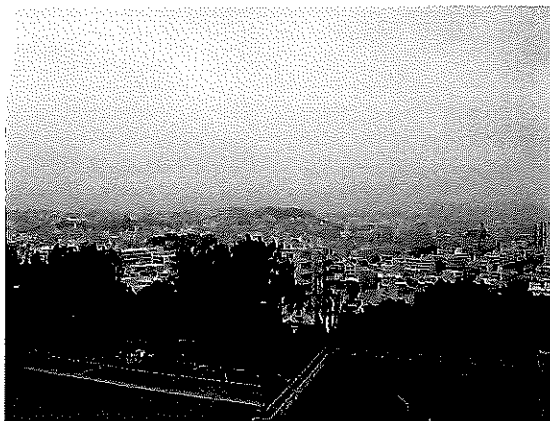
視察日時 平成30年5月12日(土) 9:00~11:30  
視察場所 旧日本海軍司令部壕及びみちの駅いとまん  
対応者 地元案内人

第二次世界大戦で初の本土戦となった沖縄では、日本軍が最後の戦いを指揮した海軍の司令部が壕として設置された。昭和19年日本海軍設営隊は、那覇市を見下ろす丘の中腹に山の中を約450mに渡り張り巡らされたトンネルを施設した。坑内はかまぼこ型に掘り抜かれた横穴で、コンクリートと坑木により支えられ、米軍の艦砲射撃に耐え持久戦を続けるための施設でもあった。司令部であると同時に避難壕でもあり、日本兵約4,000人が収容できたという。

施設内には、作戦室や幕僚室、下士官兵員室、司令官室などがあり、迷路のような通路と頭が天井に着くような狭い部屋での生活は、厳しい戦況の中では安息の場所であったのかもしれない。

幕僚室には無数の穴が空いており、説明では末期に幕僚が手榴弾で命を絶った跡ということで、当時のまま残されている。

下士官兵員室はあまりにも狭く、4,000人の日本兵はどうやってこの中で過ごしたか不思議であったが、その疑問に対する答は大変驚くものがあった。床に横になることはできず、立ったままで睡眠や休息をとったといわれ、それを実現するために壁のない柱と柱同士を繋いだ梁に寄りかかれるような仕組みを作ったという。8畳ほどの部屋には何十人もの将兵がこの梁に寄りかかるように睡眠をとっていたとすれば、多くの兵を収容できたことは間違いない。兵士達がそれでも安息と感じたのか、過酷な戦争の一端が実感できた。



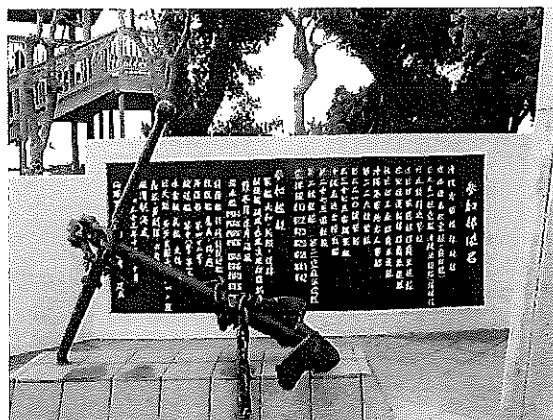
(那覇市を見下ろす丘に壕が設置された)



(旧海軍司令部慰霊碑)

旧海軍司令部の司令官であった太田實少将をはじめとする幹部6人は、米軍の猛攻撃を受けた昭和20年6月13日夜半に壕内で自決している。その直前、太田少将が海軍次官に宛てた沖縄県民の献身的協力について訴えた電報が残されている。

内容について添付した写真を参照。国を守るために兵隊に行った者だけでなく、残された女性達が老人や子どもを守るために自らが行動したことが記されており、現場の指揮官としては熾烈極まりない戦場の事実を伝えることが唯一の沖縄県民に対する可能な償いであったかもしれない。



(沖縄戦に参加した海軍艦艇の碑) (太田少将の沖縄県民の実情を記した電文)



(海軍壕公園ビジターセンター)

(沖縄戦の様子を伝えるセンター内部)

沖縄戦を戦った兵士や沖縄県民の犠牲は大変なものであるが、現地を丁寧に見て回ることによって、戦争の悲惨さと平和の尊さが実感できる視察であった。

那覇市の南にある糸満市では、道の駅いとまんを視察した。農産物を扱う広い売り場では、私達が普段食卓に並ぶ食材のほかに、南国らしい食材も多く並んでいる。本土からの観光客と修学旅行生の一団や外国人観光客、地元の市民も多く来場してお



り大変なにぎわいであった。海産物を扱う別棟では、その場で調理して食べられるコーナーもあり、台湾や中国などからの観光客が多く利用するそうである。

沖縄は観光産業が主力であり、地元産を扱うこのような施設がある一方で、アウトレットや大型商業施設が建ち並び、または建設中で、その背後には国の沖縄振興に対する積極的な後押しを感じた。



(みちの駅いとまんには、商業施設のほか情報館も併設されている)

戦争と平和が同居する沖縄は、そこに行って初めて実感できるものが多く、地元理解のためにはマスコミを通じてだけでなく、自らが行くことの大切さを実感できる視察であった。

整理番号	1-8-05-03
------	-----------

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	--	-------	--	-------	--

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議・鈴木 澄美)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	富士見台地区各種まちづくり団体新役員との懇談会		
年月日	平成30年5月19日～平成 年 月 日	金額	5,000円

目的	地区まちづくり各種団体役員との新年度事業や県要望についての意見交換
使途	懇談会参加会費
政務活動・ 県政との 関連性	新役員としてまちづくり団体に初めて参加する市民もいることから、県政概要と議会の役割などについて報告した。また、これまでに地区から県に対する要望が上がっており、その進捗状況や今後の見通しなどを報告した。

《領収書貼付枠》

**領 収 書**

平成30年度富士見台地区新役員顔合せ会

**鈴木 澄美 様**

**¥5,000-円**

但し 新役員顔合せ会会費として  
上記正に領収いたしました。

平成 30年 5月 19日




富士見台地区まちづくり協議会 会長 **真野 清**

5-3

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかる ものである	5,000円	100%	5,000円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

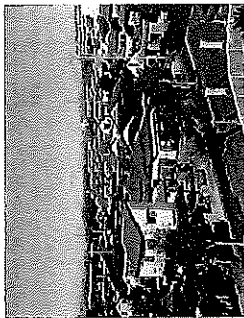
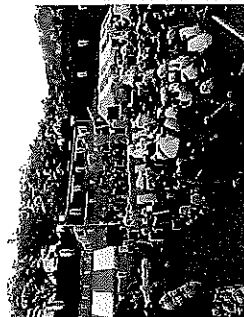
指針様式第1号

決 裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
<p>活 動 概 要 書 (会議・懇談会参加)</p> <p>平成30年 5月19日</p> <p>会派名・議員氏名 自民改革会議 鈴木澄美</p>						
活 動 名	富士見台地区各種まちづくり団体新役員との懇談会					
活動概要	<p>1 参加日時 平成30年5月19日</p> <p>2 場 所 富士市農協会館 ホワイトパレス</p> <p>3 参加者 富士見台地区まちづくり各種団体 約100名</p> <p>4 内 容 ① 主催者(富士見台地区まちづくり協議会会長)あいさつ                  ② 来賓(県議会議員、市議会議員)あいさつ                  ③ 県政報告・市政報告                  ④ 地区の県および市に対する要望事項の進捗状況説明                  ⑤ 各種団体から地区の活動と県・市との関わりについて質疑応答</p> <p>※ 政務調査のため、按分率は、<del>1/2</del>・<del>1/3</del>・1/1 とする。                  なお、飲食を伴う会議・懇談会の会費は、充当上限額を5,000円とする。</p>					
経 費	項 目	政務活動費支出額	領収書番号	内 容		
	参加費	5,000円	5-3	新役員顔合わせ会会費		
	合 計	5,000円				
備 考	添付書類：会議次第・会議資料					

# 富士見台地区 まちづくり行動計画

富士見台地区まちづくり協議会 平成28年4月発行

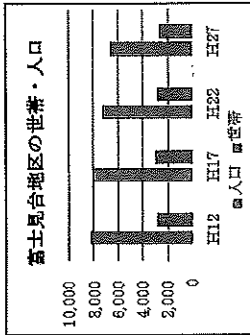
本計画は、地区の将来を見据え、各種団体間の連携のもと、地区の課題解決に向け、概ね今後5年間に効果的・効率的なまちづくり活動を地区が一丸となつて計画的に実施していくための指針です。



## ■地区の特性

- ◇位置・地理的条件
  - 市の北東部の丘陵地帯に位置し、昭和40年代に雑木林を切り開き宅地分譲された新興住宅地。
  - 富士見台大通りが東西に通っている他、交通公共機関（路線バス）が整備されており、利便性が良い。
- ◇人口・世帯数の推移
  - 人口、世帯数ともに減少の一途を辿っている。
  - 若い世代の人口が減り、高齢者世帯が増加している。

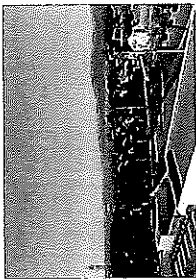
- ◇土地利用や市街地の状況
  - 地区の中心部に商業施設が集まっており、それを取り囲むように住宅地が形成されている。
  - 学校、銀行、郵便局、病院、公園、福祉施設等が整備されている。



## ■地区の自慢

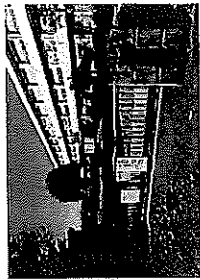
### ◇自然・歴史

- 富士山と駿河湾の両方を眺めることができる
- 高台に位置しているため、富士市内の夜景が一望できる



### ◇生活環境・施設等

- 生活関連施設の充実（幼、保、小中学校、商業施設、金融機関、病院、福祉施設、交番、公園等）
- 緑が多く、静かで落ち着いた住宅地



## ■地区の課題

### ◇環境に関すること（生活環境、自然環境、子育て・教育環境など）

- 小さな公園は整備されているが、イベントを開催できるような広い公園がない。
- 坂が多いため、子ども、高齢者、障害者にとっては移動が不便である。
- 交通量が多いため、排気ガス、騒音の問題がある。

### ◇安全・安心に関すること（交通、防災、防犯など）

- 外周道路や富士見台大通りは交通量が多いため、事故の危険性が高い。
- 交差点に信号機が少なく、横断路に危険を伴う。
- 防犯灯が全体的に少なく、夜間は暗く危険である。
- 不審者の出没。

### ◇地域の活性化などに関すること（企業立地、商業、農林水産、観光など）

- 住宅地として造成された地域であるため、目玉となる産業がない。
- 次代を担う、若い世代の働き場がない。
- 人が集まる文化施設の充実。

### ◇福祉・保健に関すること（高齢化、少子化、青少年育成、健康など）

- 若い世代の人口が減り、少子高齢化が進んでいる。
- 高齢化に伴い、空き家が増えている。
- 子どもや高齢者の支援や見守りと居場所作り。

### ◇コミュニティに関すること（地域活動、町内会組織、住民の意識など）

- 外国人居住者が多く、文化の違いを感じることもある。
- 地区役員の高齢化が進んでいるため、世代交代を見据えたりリーダーの育成が必須。
- 地区役員のみならず手が足りない。
- 住民が気軽に立ち寄ることができる場所がない。

# ■地区コミュニティの将来像

キャッチフレーズ

いつまでも安全 みんなの安心  
 全員参加で 造って・守って  
 続ける地域 富士見倉地区

安全・安心で、誰もが「暮らしがよくなった」と思える住みよいまちにするために、住民がともに手を携え、相互に助けあって、温かい心が通うまちをめざします。

【第五次総合計画での「めざす地区像」】

安全で安心して暮らせる明るい元気なまち富士見台

まちづくり活動の目標

## 体育保健

楽しく、カラダを動かしながら、健康づくり、仲間づくり

## 防災

備え合い、助け合って、災害に強い、まちづくり

## 安全

地域で見守る、安全・安心のまちづくり

## 青少年育成・文化教育

青少年の健全育成の推進と地域における文化・教育の向上

## 福祉

笑顔であいさつ、思いやりのあるまちづくり

## 広報

地区情報の周知と様々な情報の発信

# ■地域活動方針及び実施事業

活動方針

- 住民の健康増進と住民間の交流を促進するため、スポーツ・レクリエーション活動を盛らせます。
- 大規模災害に備え、防災活動の核として、自主防災会との連携のもと「地域の絆づくり」と「安全で安心なまちづくり」を推進します。
- 災害時に備え、ふだんから高齢者の方への見守りや声掛けを行います。
- 誰もが安全で安心して暮らせる、まちづくりをめざします。
- 交通事故を無くすための活動を行います。
- 不審者から子どもを守るための活動を行います。
- 青少年の健全育成をはかります。
- 新旧住民や世代間の交流を推進するために、各種イベントなどあらゆるチャンスを生かして交流の場を提供していきます。
- 住民の文化教養を高めるための事業を企画していきます。
- 地域における福祉全般について考えていきます。
- 健康でいきいきと暮らせる、まちづくりをめざします。
- 気軽にあいさつ、笑顔に会話ができる、まちづくりをめざします。
- 子ども、高齢者、障害者に対して、ふれあい交流の場を提供していきます。
- 地区住民のあらゆる世代に向けた広報活動をめざし、まちづくり活動への理解を押し進めます。
- 各種団体の交流を図るような事業を企画していきます。

実施事業（主体）（時期）

- プレイデー（生涯学習）〈継続〉
- ドッグボール大会（子ども会）〈継続〉
- 三世代交流輪投げ大会（全体）
- グラウンドゴルフ大会（生涯学習）〈継続〉
- スポーツ教室（生涯学習）〈継続〉
- トレーニング（生涯学習）〈継続〉
- 地区防災会議（部会）
- 避難所運営マニュアルの作成（町内会連合会）〈継続〉
- 総合防災訓練（町内会連合会）〈継続〉
- 地域防災訓練（町内会連合会）〈継続〉
- 安全大会（交通安全協会）〈継続〉
- 交通安全少年見守り活動（福祉推進会、地域安全推進員）〈継続〉
- 写パト全域防犯巡回（地域安全推進員）〈継続〉
- 新小学生1年生への防犯ブザー寄贈（部会）
- 文化祭（生涯学習）〈継続〉
- 中学生と語る会（生涯学習）〈継続〉
- ノータム・イン富士見台（全体）
- とんど餅つき（子ども会）〈継続〉
- 青少年健全育成講演会（生涯学習、青少年指導委員会、保護者会）〈継続〉
- 抽券（青少年指導委員会）〈継続〉
- ふれあい交流会（福祉推進会）〈継続〉
- 暮らしのあそびスクワール（福祉推進会）〈継続〉
- お餅作り（福祉推進会）〈継続〉
- コンサート（男女共同参画）〈継続〉
- 料理教室（男女共同参画）〈継続〉
- 公民館の祭り（部会）
- 防災学習会（全体）
- 防災訓練（全体）
- 行政視察（全体）

整理番号	1-8-05-04
------	-----------

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	--	-------	--	-------	--

支出証拠書 (各種団体会費)

(会派名・議員氏名 自民改革会議・ 鈴木澄美)

経費項目	調査研究費・ <u>研修費</u>		
内容	NPO法人 富士川っこの会 年会費		
年月日	平成30年5月19日~平成 年 月 日	金額	1,300円

会の趣旨・目的	自然体験や農業体験を通じて青少年の健全育成を行う
会の活動内容等	旧富士川町地域内の耕作放棄地を活用した農業体験や河川及び林などに生息する生物調査。演習農地で栽培した農作物の加工や調理体験。
政務活動・県政との関連性	青少年に関する環境教育のあり方の先進事例として。

〈領収書貼付枠〉  
 対象期間 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

※ 添付書類：団体の会則・事業概要・その他 ( )

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動に関わる	1,300円	/	1,300円
		100%	

※ 按分による支出がある場合は、按分の理由、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

1-8-5-4

NO:02

領収証

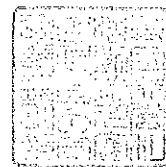
鈴木 様

受領金額 1,300 円

平成30年 5月19日

「NPO 富士川っ子の会」の会費として、上記金額を受領いたしました。

NPO 富士川っ子の会



○  
1-8-5-4

特定非営利活動法人 富士川っ子の会

平成30年度 通常総会 資料

期日 : 平成30年度 5月 19日 (土)  
時間 : 午後 7時 から  
場所 : 富士川まちづくりセンター 2階 第1会議室



平成30年度 事業計画



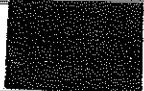
遊び塾部 (ふじかわっこ! ZERO 遊び塾)	
事業目的	地域の小学生(1年生～6年生)と地域の青年リーダーが「命の大切さ」を学び、自ら考えて行動する「ふじかわっこ」を育む
活動内容	地域の小学生と青年リーダーが「今ここにしかない体験」を一緒に体験する。
対象・定員	富士市内に在住している小学生。(24名程度)
活動場所	富士川まちづくりセンター (雨天時も同じ)
活動日	日付; 毎月第2日曜日(5月～平成31年3月までの11回) 時間; 集合: 9時30分、解散: 14時30分予定)
参加費	小学生(塾生) 年間一人: 3000円
毎月の活動計画(案)	以下の活動を予定している。 5/13(日): 開講式 ～ふじかわっこ! ZERO遊び塾とは?～ 6/10(日): 裏山公園・グラウンドで思いっきり遊ぼう! 7/8(日): まちづくりセンターの周りを探検しよう! 8/12(日): 夏休み!電車に乗って出かけよう! 9/9(日): まちづくりセンターの周りを撮影しよう! 10/14(日): 富士川地区を探検しよう! 11/11(日): 作物を収穫しよう! 12/9(日): 紅白に分かれて対抗戦! 1/13(日): お正月の遊びを体験しよう! 2/10(日): 世界の文化を体験しよう! 3/10(日): 閉講式 ～ふじかわっこ! ZERO遊び塾を振り返ろう～

寄り合いどころ部 (かわっこカフェ)	
事業目的	自ら考えて行動する「ふじかわっこ」の育成を地域で支えるため、地域のコミュニティの拠点を作ること。
活動内容	気軽に立ち寄ることができる居場所として、来られた方が気軽に楽しめる(おしゃべり、健康体操、折り紙、お茶、ソバ打ちなど)場を創造する。
対象・定員	どなたでも参加できます。 (準備資材の関係で定員を設ける場合があります。)
活動場所	富士川まちづくりセンター 1階の和室、分館の調理室 (雨天時も同じ)
活動日	日付; 毎月第2日曜日(5月～平成31年3月までの11回) 奇数月の第3水曜日 時間; 9時30分～15時00分予定
参加費	無料。 ただし、メニューにより一部実費(参加費、材料費)の負担をお願いする場合があります。
毎月の活動計画	ふれあいメニュー 「定番メニュー」 ・手遊び(季節の折り紙) ・脳トレ体操(心と体のストレッチ) ・おしゃべり(世間話)、暮らしの知恵袋の紹介など 「スペシャルメニュー」 ・新茶を楽しむ会(5月 第二日曜日) ・コーヒを淹れよう(12月 第二日曜日) ・蕎麦打ち研修(5月から奇数月・全6回/参加費+材料費) etc

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで(単位:F)

科 目	予算額	前年度 予算額	増 減	備 考
<b>I 収入の部</b>				
<b>1. 会費収入</b>	49,900	25,000	24,900	
(1) 会費収入	29,900	25,000	4,900	1,300x23名
(2) 賛助会費収入	20,000	0	20,000	助成金(イオン黄色いレシート)
(2) 助成金	0	0	0	
<b>2. 事業収入</b>	92,000	96,000	-4,000	
(1) 自然学習、生活体験等を通じた生涯学習推進事業	92,000	96,000	-4,000	
① 遊び塾	72,000	96,000	-24,000	遊び塾会費24名
② そば打ち体験他食育事業	20,000	0	20,000	そば打ち参加費
(2) 各団体との交流及びネットワーク構築事業	0	0	0	
(3) 地域づくりへの参加及び支援事業	0	0	0	
① 地域づくり	0	0	0	交流会費
② キウイマラソン	0	0	0	地域事業参加
③ 環境フェア	0	0	0	
④ かわっこカフェ	0	0	0	
(4) 機関紙等作成及び広報啓発事業	0	0	0	
<b>3. 寄付金収入</b>	0	300,000	-300,000	
<b>4. 準備金取崩し</b>	200,000	0	200,000	
<b>5. 雑収入</b>	100	100	0	利息収入等
<b>当期収入合計(A)</b>	<b>342,000</b>	<b>421,100</b>	<b>-79,100</b>	
<b>前期繰越収支差額</b>	<b>321,041</b>	<b>644,852</b>	<b>-323,811</b>	
<b>収入合計(B)</b>	<b>663,041</b>	<b>1,065,952</b>	<b>-402,911</b>	
<b>II 支出の部</b>				
<b>1. 事業費</b>	380,000	460,000	-80,000	
(1) 自然学習、生活体験等を通じた生涯学習推進事業	240,000	300,000	-60,000	エコクラブ他委託金事業
① 遊び塾	180,000	240,000	-60,000	活動資金
② そば打ち体験他食育事業	60,000	60,000	0	そば打ち他
(2) 各団体との交流及びネットワーク構築事業	70,000	10,000	60,000	遊び塾サミット、NPO団体
(3) 地域づくりへの参加及び支援事業	10,000	90,000	-80,000	
① 地域づくり事業	10,000	10,000	0	他団体との交流
② キウイマラソン	0	10,000	-10,000	地域事業参加
③ 環境フェア	0	10,000	-10,000	器具備品購入
④ かわっこカフェ	0	60,000	-60,000	ガチャ景品他
(4) 機関紙等作成及び広報啓発事業	60,000	60,000	0	消耗品他

整理番号	1-8-05-05
------	-----------

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	---	-------	---	-------	---

支出証拠書 (各種団体会費)

(会派名・議員氏名 自民改革会議・鈴木澄美)

経費項目	調査研究費・研修費		
内容	NPO法人 ハイネットふじ 年会費		
年月日	平成30年 5月26日～平成	年月日	金額 3,000円

会の趣旨・目的	高齢者福祉を支援する市民活動
会の活動内容等	高齢者福祉サービスの内、いきいきディサービスや介護相談員などを介護施設に派遣するなどの活動を展開する市民団体
政務活動・県政との関連性	高齢者福祉の内、介護支援や健康推進を実現するために、市民活動としてどのように関わっているかを調査

〈領収書貼付枠〉

対象期間 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

領 収 証

鈴木澄美様 No. \_\_\_\_\_

★ 3,000.-

但 平成30年度会費

30年5月26日 上記正に領収いたしました

取 入 印 紙

ココロ ウケ-1097

内 訳

税抜金額 \_\_\_\_\_


消費税額等(%) \_\_\_\_\_

N P O ハイネット・ふじ

特定非営利活動法人

7417-0052 静岡県富士市中央町1丁目2番1号

TEL/FAX(0545)53-4165



按分の理由 全て政務活動に関わる	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
	3,000円	100%	3,000円

※ 按分による支出がある場合は、按分の理由、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

1-8-5-5

本社 - 30年度支助

・ 収入控 53370

・ BCP 2/15

# 平成30年度定期総会 議 案

老いをゆたかに 楽しい暮らに

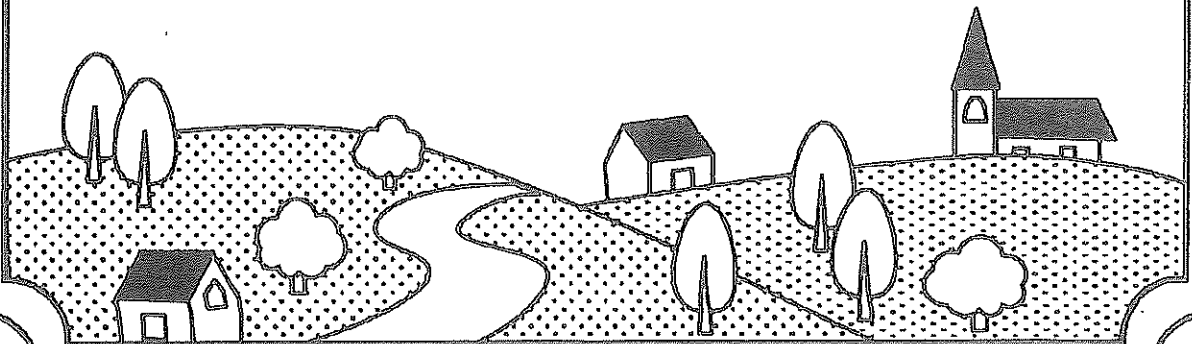
NPO法人

ハイネット・ふじ



日 時 平成30年5月26日 (土) 10時

場 所 フィランセ東館2階 ふくし体験室



## 議第4号

平成30年度 事業計画 (案)  
(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

## 1. 「すこやか倶楽部」

## ① 生きがいディサービス

住み慣れた地域で、安心して暮らしていけるように、多くの皆さんとふれあい、健康管理に注意し食事（昼食）サービス・栄養などの指導・脳トレ運動・趣味活動を取り入れて、利用者の皆さんが生きがいを持って毎日を過ごすことが出来るよう取り組み、社会参加の促進を図ります。

開所曜日・・・月・金（週2回）

開所時間・・・10:00～14:00

週1回に変更

健康づくりディサービスも同じ曜日、同じ時間で実施。

## ② 健康づくりディサービス

メリハリをつけていろいろな体操に取り組み自立した生活を少しでも長く続けられるように、また楽しく貯筋できるように体を動かし、健康づくりへの取り組みを実施していきます。

・チェックリストにおいて対象者と認定された人、または要介護認定において要支援1、2と判定された人。

30 29年度の生きがいディサービス登録者・・・14名

29 29年度の健康づくりディサービス登録者・・・13名

・年4回季節に応じた行事を取り入れ、皆さんに楽しんでいただけるように実施します。（お花見、夏祭り、紅葉狩り、クリスマス会）

## 2. 介護相談員派遣事業

<目的>

介護サービスを提供する施設等を訪問し、介護サービスの利用者の意見を、介護サービスを提供する事業者に伝達することにより、介護サービスの質的な向上を図ります。

30年度の訪問施設・・・25ヶ所

今年度より9ヶ所、新しく訪問することになりましたが、年度末で終了と

なった施設がありますので、全体として25施設となりました。利用者や入居者の皆さんが、よりよいサービスが受けられるように皆さんの「声」を施設側へ届けていきます。

<30年度の訪問施設>

- 老人保健施設 . . . ヒューマンライフ富士、ひろみ
- 介護老人福祉施設 . . . 天間荘、すどの杜、鑑石園、月のあかり、富士まかど
- 地域密着型 . . . 風の杜、あおば
- 介護老人福祉施設
- 小規模多機能型居宅介護 . . . ハートフルホーム厚原、あったかおおぶち  
富士の里、みなみ風・永遠の家、よろこび宮島
- グループホーム . . . ぱれっと、いづみのグループホーム、  
松岡グループホーム、たみの里一日乃出町
- 特定施設 . . . わだの里、ツクイ・サンシャイン富士、  
ニチイのきらめき、ウエルビーイング富士三ツ倉、
- 住宅型有料老人ホーム . . . シフティーン富士駅前、でんぼうの丘、  
フローレンス新富士

新設  
2/17

- ・介護相談員養成研修 . . . 7/31~8/3 両国 KFCホール 3泊4日
- ・介護相談員現任研修 . . . 5/24~25 " 1泊2日

3. 自主事業

- ✓ 着物リフォーム . . . 月1回 第一木曜日開催  
講師 . . . [REDACTED]
- ✓ 歌と体操の健康教室 . . . 月1回 第三木曜日  
講師 . . . [REDACTED]

新設

4. 法人関係

- 月1回 理事会開催 第二木曜日
- “カフェすこやか” 第二水曜日、第四水曜日の月2回開催
- ・会報「老いをゆたかに」の発行・発送と東京からの会報発送
- ・キャラバン・メイトとしての協力

出星の  
いすわ?

新設は

その他の事業及び活動

- ・まちの駅 ほのぼの・吉原「中宿」として事業参加及び協力
- ・地域密着型サービス運営委員 ([REDACTED] 副理事長) としての活動

5月まで

書込み  
終了  
2/17

整理番号	1-8-05-06
------	-----------

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	---	-------	---	-------	---

支 出 証 拠 書

(会派名・議員氏名 自民改革会議・鈴木 澄美)

経費項目	調査研究費・研修費・広報広報費・要請陳情活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内 容	携帯電話およびデータ通信費		
年 月 日	引き落とし日 平成30年7月2日	金 額	3, 299円

目 的	調査研究など政務活動を行うための通信手段
使 途	平成30年6月請求分
政務活動・ 県政との 関連性	
<<領収書貼付枠>> 基本料金 743 円 (基本料金) パケット定額料金 4, 700 円 (通信料) カケホーダイ定額料 667 円 (通話料) (小計) 6, 110 円  消費税 (8%) 488 円  合 計 6,598 円	

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
私用との按分	6, 598円	1/2	3, 299円
		50%	

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

1-8-5-6



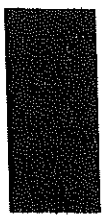
30-03-13 BA  
 30-03-27 BF  
 30-03-30 FF  
 30-03-30 BA  
 30-03-30 BA  
 30-04-02 BF  
 30-04-10 BF  
 30-04-13 BA  
 30-04-25 BA  
 30-04-26 BA  
 30-04-26 BA  
 30-04-27 FF

30-05-01 BF  
 30-05-10 BF  
 30-05-16 BF  
 30-05-18 BF  
 30-05-31 BF  
 30-05-31 FF  
 30-05-31 BA  
 30-06-02 BA  
 30-06-11 BF  
 30-06-27 AA  
 30-06-29 FF  
 30-07-02 BF

3 3

3 3 3

7



\*7,313 ト"JE ヲイヲイ



1-8-5-6

日頃、ドコモのサービスをご利用いただきまして誠にありがとうございます。

( 1 / 1 ページ) docomo

お客様氏名 CUSTOMER NAME	鈴木 澄美 様 ※JIS漢字コード以外の一部文字において●(黒まる)表示になる場合があります。
お客様電話番号 PHONE NUMBER	XXXXXXXXXX

## ご利用額のご案内

下記、ご利用料金をご指定の口座から振替させていただきます。  
The following amount was transferred from your account.

ご利用年月 MONTH OF USE	2018年5月ご利用分
ご利用額 TRANSFER AMOUNT OF MONEY うち、消費税等相当額 TAX	7,313円 (541円)
振替日 TRANSFER DAY	2018年7月2日(月)

前々月ご利用額	7,313円(税込)
タイプX1にねん (2018年5月末現在)	継続利用期間は、5月末で7年です。タイプX1にねんご契約期間は1年4か月です。
* * * *	* * * *

ポイントのお知らせ	2018年5月よりdポイントクラブをリニューアルいたしました！ 新特典「ずっとドコモ割プラス」をはじめ、ドコモを長くご利用のお客さまや、 ポイントをたくさんご利用のお客さまも、さらにおトクを実感いただける内容とな っております。詳しくは「dポイントクラブサイト」をご覧ください。
* * * *	* * * *

## お知らせ

【NTTドコモからのお知らせ】-----

\*\*\* ドコモからのお知らせ \*\*\*

ユニバーサルサービス料は、ユニバーサルサービス（NTT東西の加入電話等）の提供を確保するために必要な費用の一部を通信事業者全体で電話番号数に応じて負担するユニバーサルサービス制  
度の趣旨に基づき、ご負担をお願いしている料金です。

## 株式会社NTTドコモ 料金領収証

RECEIPT OF TELECOMMUNICATION CHARGES

下記、ご利用料金を口座振替により領収いたしました。  
The following amount was transferred from your account.

株式会社NTTドコモ  
〒100-6150  
東京都千代田区永田町2-11-1

請求年月 MONTH OF ISSUE	* * * *
領収金額 AMOUNT OF RECEIVED	* * * *
領収金額のうち、消費税等相当額 CONSUMPTION TAX	* * * *
振替口座 BANK ACCOUNT	金融機関名 (BANK/POST OFFICE) * * * *
	口座番号 (ACCOUNT) * * * *

本書は電子文書です。




1-8-5-6

日頃、ドコモのサービスをご利用いただきまして誠にありがとうございます。

内訳項目 金額 (円) BREAKDOWN BY CATEGORY (YEN)	内訳金額 (円) AMOUNT (YEN)	内訳等詳細 (DETAILS OF BREAKDOWN)	税区分 (TAX)
		ご利用期間 (5/1~5/31)	
◇基本使用料 (計) 743	743	基本使用料 (タイプXi にねん)	合 算
◇パケット定額料等 (計) 4,700	4,700	Xiパケ・ホーダイ ライト定額料	23,627KB (0.1GB) 合 算
◇その他ご利用料金等 (計) 1,329	300	spモード利用料	合 算
	380	ケータイ補償お届けサービス利用料 (380)	合 算
	300	ドコモWi-Fi利用料 (spモード)	合 算
	-300	永年キャンペーン割引料 (ドコモWi-Fi)	合 算
	667	Xiカケ・ホーダイ定額料	5月ご利用分 合 算
	2	ユニバーサルサービス料/基本	1番号あたり2円のご請求となります 合 算
	-20	eピリング割引料	5月請求分 合 算
◇消費税等相当額 (計) 541	541	消費税等相当額 (合計)	合算表示の料金合計×8%
◇合計 7,313	7,313	合計	
		<NTTドコモからのお知らせ>	
		○継続利用期間は、5月まで	7年となりました。
		○ポイントのお知らせ	
		今月のご利用金額に対する獲得ポイントは、	60です。
		(ポイント進量の対象になるご利用金額は、	6,772円です。)
		※その他の獲得ポイントはWEBをご確認ください。	
		○ステージのお知らせ	
		5月末のステージは、	2ndステージです。
		※その他のステージ情報はWEBをご確認ください。	

\*\*\*ユニバーサルサービス料について\*\*\*  
 ユニバーサルサービス料は、あまねく日本全国においてユニバーサルサービス (NTT東西の加入電話等) の提供を確保するためにご負担いただく料金です。  
 なお、社団法人電気通信事業者協会から1番号当たりの費用 (番号単価) が公表されています。

整理番号	1-8-05-07
------	-----------

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	---	-------	---	-------	---

支出証拠書

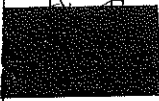
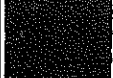
(会派名・議員氏名 自民改革会議・鈴木 澄美)

経費項目	調査研究費・研修費・広報広報費・要請等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務費・人件費		
内容	事務員雇用		
年月日	平成30年5月1日～平成30年5月31日	金額	69,825円

目的	調査研究など政務活動を補助する職員を雇用
使途	平成30年5月分給与
政務活動・ 県政との 関連性	

《領収書貼付枠》

給与明細書 平成30年5月分

氏名	給与	手当	支給総額	控除	差引支給額	受領印
	139,650	0	139,650	0	139,650	

雇用時間数 147.0h × 単価 950円 = 給与総額 139,650円

139,650 × 1/2 = 69,825円 (政務活動費充当)

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
後援会との按分	139,650円	1/2	69,825円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。



1-8-5-8

領 収 証

平成30年5月31日

印 紙  
円

鈴木 澄美 様

¥ 4 9 , 5 0 0 ※

(現金・小切手)

但 富士市比奈1418番地の2、5月分事務所賃料  
水道光熱費・通信費および駐車場の賃料

内  
訳

政務活動+後援会 合計99,000円(政務活動費分按分1/2 49,500円)

事務所賃料:60,000円 水道光熱事務・通信費:24,000円 駐車場3台分:15,000円

上記金額正に領収致しました。

住 所 富士市比奈1418番地の2  
株式会社 富士不動産センター  
氏 名 代表取締役 鈴木 茂樹



キトリセン



月 日	内 容	行 程	走行距離(km)
5月3日	大淵地区笹場茶振興事業県支援策の地区役員への説明と意見交換	自宅—大淵富士本 (往復)	32
5月6日	旧富士川地区環境NPO法人鎮守の森を育てる会意見交換	自宅—木島 (往復)	34
5月7日	西富士道路振動対策協議	自宅—県庁 (往復)	96
5月7日	西富士道路振動対策地元協議会意見交換	自宅—久沢協議会役員宅 (往復)	30
5月8日	県水産技術研究所開所式 (焼津市) 西富士道路振動対策協議 (県庁)	自宅—焼津港—県庁—自宅	156
5月9日	防衛議連視察 (往路)	自宅—新富士駅 (往復)	16
5月12日	防衛議連視察 (復路)	自宅—新富士駅 (往復)	16
5月13日	青年会館所による青少年の健全育成事業視察	自宅—市営大淵田農場 (往復)	18
5月13日	沿津市新市長との意見交換 (沿津市・富士市の共通施策課題について)	自宅—沿津市文化センター (往復)	36
5月14日	専修学校県要望聴取	自宅—富士調理技術専門学校 (往復)	30
5月15日	田子の浦港砂山公園整備について県管理事務所と意見交換	自宅—田子の浦港管理事務所 (往復)	14
5月15日	富士山かぐや姫ミュージアム施設利用者との意見交換	自宅—かぐや姫ミュージアム (往復)	18
5月16日	市タバコ販売協同組合にて禁煙・分煙状況について意見交換	自宅—ロゼシアター会議室 (往復)	16
5月16日	新年度文化観光委員会協議会進行打ち合わせ	自宅—県庁 (復路)	96
5月17日	富士川緑地公園整備に関する市議との意見交換	自宅—富士市役所 (往復)	12
5月19日	春山川・赤瀬川河川改修地元要望見地視察	自宅—富士岡入町—浮島地区 (往復)	18
5月19日	高齢者施設運営者との意見交換	自宅—富士市中島 (往復)	22
5月20日	富士市水防団訓練視察と関係者との意見交換	自宅—富士川雁公園 (往復)	28
5月21日	春山川・赤瀬川河川改修について富士土木事務所担当と意見交換	自宅—富士土木事務所 (往復)	16
5月22日	文化観光委員会県外視察委員長打ち合わせ	自宅—県庁 (往復)	96
5月22日	富士商工会議所婦人部総会並びに意見交換	自宅—富士商工会議所 (往復)	14
5月22日	吉原商店街振興会総会と商店街振興について意見交換	自宅—吉原商店街振興会事務所 (往復)	10
5月23日	富士富士宮地区農工商業協働組会との意見交換	自宅—樟泉閣 (往復)	12
5月23日	サンフロント21総会及び関係者との意見交換	自宅—三島フラザホテル (往復)	48

5月25日	富士市町内会連合会総会と役員との懇談	自宅-ロゼシアター (往復)	14
5月25日	富士地区貨物運送事業協同組合総会と意見交換	自宅-ホテルグランド富士 (往復)	20
5月27日	田子の浦地区観光振興への取り組み視察	自宅-田子の浦漁港 (往復)	14
5月28日	文教警察委員会視察案の検討 (議会事務局)	自宅-県庁 (往復)	96
5月28日	新々富士川橋建設促進期成同盟総会	自宅-ペアステージノイ (往復)	14
5月29日	天間地区医療と福祉団体との意見交換	自宅-鷹岡病院 (往復)	26
5月30日	富士市環境衛生自治協議会総会と関係者との意見交換	自宅-ロゼシアター	14
5月30日	富士市生涯学習推進会総会と関係者との意見交換	自宅-ロゼシアター	14
5月31日	国道469号建設促進期成同盟総会	自宅-富士宮パテオン (往復)	32
5月31日	文化観光委員長外部委員等委嘱手続き	自宅-県庁 (往復)	96
合 計			1224